



平成28年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年6月10日

上場会社名 株式会社オーエムツーネットワーク 上場取引所 東
 コード番号 7614 URL <http://www.om2.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大越 勤
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 澄川 新一 TEL 03(5405)9541
 四半期報告書提出予定日 平成27年6月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年1月期第1四半期の連結業績（平成27年2月1日～平成27年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年1月期第1四半期	9,113	6.3	433	24.3	473	17.9	236	1.2
27年1月期第1四半期	8,575	2.4	349	△3.6	401	△1.2	233	8.2

(注) 包括利益 28年1月期第1四半期 250百万円 (4.1%) 27年1月期第1四半期 240百万円 (9.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年1月期第1四半期	34.64	-
27年1月期第1四半期	34.23	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年1月期第1四半期	14,942	9,047	60.6	1,327.43
27年1月期	14,731	8,846	60.0	1,297.81

(参考) 自己資本 28年1月期第1四半期 9,047百万円 27年1月期 8,846百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年1月期	-	0.00	-	24.00	24.00
28年1月期	-	-	-	-	-
28年1月期(予想)	-	0.00	-	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年1月期の連結業績予想（平成27年2月1日～平成28年1月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,980	3.5	660	0.3	720	△1.9	370	△9.9	54.28
通期	36,980	2.0	1,610	△1.1	1,700	△2.9	910	△6.8	133.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年1月期1Q	7,335,634株	27年1月期	7,335,634株
② 期末自己株式数	28年1月期1Q	519,453株	27年1月期	519,453株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年1月期1Q	6,816,181株	27年1月期1Q	6,816,181株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や企業収益に改善が見られるなど、緩やかな回復基調が続いております。一方で、海外では新興国における景気減速が見られるものの、先進国を中心に回復しており、そうしたもとの、輸出は持ち直しの動きが見られました。

当社グループ中核事業の属する食品小売業界におきましても、物価上昇による売上増の要因はあったものの、消費者の食に対する「安心・安全」意識の高まりや、お客様の節約・低価格志向を背景とした企業間の競争激化、円安や飼料高騰等の影響により厳しい経営環境にありました。

このような中で当社グループは、主力事業である食肉等の小売業において、従業員教育や作業オペレーションの改善、イベント等に向けた提案型販売の強化を進めました。外食事業にあつてはステーキレストランチェーン事業において競争力向上のための施策を実施し、また加工事業における品質向上のための施策や新規顧客開拓等に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高91億13百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益は4億33百万円（同24.3%増）、経常利益は4億73百万円（同17.9%増）、四半期純利益は2億36百万円（同1.2%増）となりました。

営業の概況をセグメント別に記述すると以下の通りであります。

「食肉等の小売業」

当第1四半期連結累計期間の開閉店はそれぞれ4店ずつであり、その結果、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は149店になりました。内訳は食肉小売店119店（前期末比1店増）、惣菜小売店30店（同1店減）であります。当セグメントを取り巻く環境は上記記載の通りで、その結果、売上高は54億55百万円（前年同期比6.9%増）、営業利益は3億69百万円（同12.4%増）となりました。

「食肉等の製造・加工業」

主力のハム・ソーセージ部門において、新規取引先開拓や既存取引先における拡販が進んだほか、冷凍麺及びデザート部門において取引が増加し、売上高は17億11百万円（前年同期比3.5%増）となりました。営業利益は生産性向上の取組や、原材料等相場高のため実施した価格改定などの効果により37百万円（前年同期は0.6百万円の営業利益）となりました。

「外食業」

当第1四半期連結累計期間の開閉店はそれぞれ1店ずつであり、その結果、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は56店になりました。売上高につきましては、㈱焼肉の牛太はカットセンターの新規取引先の増加や国産牛肉の単価上昇等、㈱オーエムツーダイニングはメニュー改廃の見直しやWEB戦略等のマーケティング活動により既存店の売上が堅調に伸びたことから20億91百万円（前年同期比5.6%増）となりました。営業利益につきましては、原価高の状況ながら、客数・客単価向上の施策実施等により店舗損益が改善され1億31百万円（同0.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の主要勘定の金額及びその前連結会計年度末比は以下の通りであり、大きな変動はありません。

流動資産	101億6百万円（前期末比△0.1%）
固定資産	48億35百万円（同+4.7%）
総資産	149億42百万円（同+1.4%）
流動負債	49億57百万円（同△0.7%）
固定負債	9億36百万円（同+5.2%）
純資産	90億47百万円（同+2.3%）
負債・純資産合計	149億42百万円（同+1.4%）

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年1月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成27年3月13日に公表いたしました内容に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更いたしました。

また、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が47,137千円増加し、退職給付に係る資産が225,605千円、利益剰余金が115,347千円増加しております。なお、損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,935,458	6,279,191
受取手形及び売掛金	1,089,860	963,207
テナント未収入金	1,409,560	1,340,996
商品及び製品	617,155	574,043
仕掛品	11,004	20,631
原材料及び貯蔵品	628,887	454,870
繰延税金資産	114,836	116,506
未収入金	177,273	208,336
その他	151,527	169,261
貸倒引当金	△22,963	△20,220
流動資産合計	10,112,600	10,106,824
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,029,923	3,999,260
減価償却累計額	△2,552,861	△2,507,956
建物及び構築物(純額)	1,477,062	1,491,304
機械装置及び運搬具	1,841,490	1,797,303
減価償却累計額	△1,549,029	△1,510,796
機械装置及び運搬具(純額)	292,460	286,507
土地	718,059	680,713
その他	1,505,251	1,563,969
減価償却累計額	△1,119,414	△1,130,439
その他(純額)	385,837	433,530
減損損失累計額	△360,617	△346,379
有形固定資産合計	2,512,802	2,545,676
無形固定資産		
のれん	14,549	12,731
その他	131,030	128,035
無形固定資産合計	145,580	140,766
投資その他の資産		
投資有価証券	203,298	218,133
長期貸付金	48,963	16,529
退職給付に係る資産	—	294,288
繰延税金資産	191,334	96,392
敷金及び保証金	1,203,242	1,203,044
投資不動産	257,376	257,376
減価償却累計額	△31,558	△34,279
投資不動産(純額)	225,817	223,097
その他	109,428	119,247
貸倒引当金	△21,488	△21,488
投資その他の資産合計	1,960,597	2,149,244
固定資産合計	4,618,981	4,835,688
資産合計	14,731,582	14,942,512

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,203,584	2,618,368
短期借入金	550,000	550,000
1年内返済予定の長期借入金	261,923	246,932
未払金	516,814	525,986
未払法人税等	487,988	157,961
賞与引当金	84,897	175,894
その他	889,347	682,440
流動負債合計	4,994,555	4,957,584
固定負債		
長期借入金	327,355	273,990
退職給付に係る負債	165,357	262,823
役員退職慰労引当金	66,733	68,148
資産除去債務	161,984	151,360
厚生年金基金解散損失引当金	95,563	95,563
その他	73,947	85,057
固定負債合計	890,940	936,943
負債合計	5,885,495	5,894,527
純資産の部		
株主資本		
資本金	466,700	466,700
資本剰余金	1,064,000	1,064,000
利益剰余金	7,768,974	7,956,813
自己株式	△476,078	△476,078
株主資本合計	8,823,596	9,011,434
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,451	63,340
退職給付に係る調整累計額	△28,961	△26,790
その他の包括利益累計額合計	22,490	36,549
純資産合計	8,846,086	9,047,984
負債純資産合計	14,731,582	14,942,512

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年4月30日)
売上高	8,575,977	9,113,465
売上原価	5,491,910	5,872,420
売上総利益	3,084,067	3,241,045
販売費及び一般管理費	2,734,964	2,807,061
営業利益	349,102	433,983
営業外収益		
受取利息	1,704	945
受取配当金	840	840
持分法による投資利益	8,699	—
家賃収入	13,526	13,000
協賛金収入	23,696	23,133
受取手数料	4,387	3,902
その他	5,283	5,134
営業外収益合計	58,138	46,956
営業外費用		
支払利息	3,137	1,733
持分法による投資損失	—	3,175
不動産賃貸原価	2,720	2,720
その他	19	205
営業外費用合計	5,877	7,834
経常利益	401,363	473,106
特別利益		
有形固定資産売却益	—	1,259
投資有価証券売却益	3,721	—
受取補償金	—	2,000
特別利益合計	3,721	3,259
特別損失		
有形固定資産除却損	782	101
有形固定資産売却損	—	5,304
店舗閉鎖損失	11,402	33,428
その他	1,023	—
特別損失合計	13,208	38,834
税金等調整前四半期純利益	391,876	437,530
法人税、住民税及び事業税	193,570	162,168
法人税等調整額	△34,983	39,282
法人税等合計	158,587	201,450
少数株主損益調整前四半期純利益	233,289	236,079
四半期純利益	233,289	236,079

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	233,289	236,079
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,904	11,889
退職給付に係る調整額	—	2,170
その他の包括利益合計	6,904	14,059
四半期包括利益	240,193	250,139
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	240,193	250,139

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年2月1日 至平成26年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	食肉等の製 造・加工業	外食業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,061,079	1,543,129	1,971,768	8,575,977	—	8,575,977
セグメント間の内部売上高 又は振替高	41,400	111,027	9,131	161,558	△161,558	—
計	5,102,479	1,654,156	1,980,899	8,737,536	△161,558	8,575,977
セグメント利益	328,321	688	130,428	459,438	△110,336	349,102

(注) 1. セグメント利益の調整額△110,336千円は、セグメント間取引消去△39,104千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△71,231千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成27年2月1日 至平成27年4月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	食肉等の製 造・加工業	外食業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,420,369	1,612,851	2,080,245	9,113,465	—	9,113,465
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,336	98,387	11,148	144,872	△144,872	—
計	5,455,706	1,711,238	2,091,393	9,258,338	△144,872	9,113,465
セグメント利益	369,003	37,351	131,475	537,830	△103,846	433,983

(注) 1. セグメント利益の調整額△103,846千円は、セグメント間取引消去△32,896千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△70,949千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に変更しております。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。